

令和5年度 目標設定書（学校教育課）

学校教育課長 土屋 浩一

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校への就学・転入学の手続き、児童生徒の保健衛生等に関すること ・学校の教育課程、学習指導、生徒指導、教職員の人事管理等に関すること ・教育に関する各種調査・統計に関すること 		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
<p>毛呂山町に住んでいる児童生徒とその保護者の方々のために。 また、学校教育にご支援ご協力をいただいている全ての町民の皆さんのために。</p>		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目標名	確かな学力の定着と自立する力の育成	
指標名	埼玉県学力・学習状況調査で前年度から学力が伸びた児童生徒の割合（国語）	
数値目標	初期値（平成30年度）	61.8%
	現状値（令和4年度）	64.6%
	目標値（令和5年度）	65.0%
	最終目標値（令和6年度）	65.0%
設定根拠	第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画	
事業概要	各小中学校における指導方法研究等に「埼玉県学力・学習調査」を活用し、学習指導における質の向上を図ります。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
<p>「埼玉県学力・学習状況調査」は、児童生徒一人ひとりの学力の伸びの把握により、児童生徒の1年間の学習成果に加え、教員の取組の成果を確認することができます。 毛呂山町学力向上対策委員会において、学力向上に効果のあった取組を分析し共有することで、指導内容の工夫や改善を図ることができます。</p>		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
<p>国語については学力を伸ばした児童生徒の割合が着実に増えてきています。また、児童生徒の「文章を書く」活動への取り組み等に力を入れている先生が大きく学力を伸ばしています。これらの取り組みを町内の学校で共有し、町全体の学力が伸びるように取り組んでまいります。</p>		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
<p>学力向上対策委員会において、学力を伸ばした先生の国語授業について、研究を行い、研究成果については、町内小中学校で情報を共有します。また、学力を伸ばした学校が行っている新聞を活用したNIE教育への取組について研究を行い、「文章を書く」活動について、町内小中学校に取り組みを広げます。 授業においては、「学力向上毛呂山プラン」や「授業の心得ヒントシート」（学力向上を目指すための授業の心得を記したもの）の周知徹底を図り、児童生徒が主体的に学習に取り組めるような授業改善を行います。</p>		

令和5年度 目標設定書 (学校教育課)

学校教育課長 土屋 浩一

1 当課の主な業務は次のように定義されます。		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校への就学・転入学の手続き、児童生徒の保健衛生等に関すること ・学校の教育課程、学習指導、生徒指導、教職員の人事管理等に関すること ・教育に関する各種調査・統計に関すること 		
2 当課の業務は次の方々のために行われます。		
<p>毛呂山町に住んでいる児童生徒とその保護者の方々のために。 また、学校教育にご支援ご協力をいただいている全ての町民の皆さんのために。</p>		
3 当課の掲げる数値目標と、その根拠は次のとおりです。		
目標名	確かな学力の定着と自立する力の育成	
指標名	埼玉県学力・学習状況調査で前年度から学力が伸びた児童生徒の割合 (算数・数学)	
数値目標	初期値 (平成30年度)	66.1%
	現状値 (令和4年度)	62.8%
	目標値 (令和5年度)	70.0%
	最終目標値 (令和6年度)	70.0%
設定根拠	第五次毛呂山町総合振興計画後期基本計画	
事業概要	各小中学校における指導方法研究等に「埼玉県学力・学習調査」を活用し、学習指導における質の向上を図ります。	
4 目標達成に向けた取り組みにより、次の効果が期待されます。		
<p>「埼玉県学力・学習状況調査」は、児童生徒一人ひとりの学力の伸びの把握により、児童生徒の1年間の学習成果に加え、教員の取組の成果を確認することができます。 毛呂山町学力向上対策委員会において、学力向上に効果のあった取組を分析し共有することで、指導内容の工夫や改善を図ることができます。</p>		
5 昨年度の取り組みの反省点は次のとおりでした。		
<p>目標値および県平均を超える学力の伸びがみられた学年もありましたが、全体では目標値に達することができませんでした。算数・数学については、学力の中間層に伸び悩みが見られます。児童生徒の学習への主体性や習熟の時間の不足等に課題が見られます。授業において、問題演習の時間を確保し、学力の定着を図ってまいります。また、町内で学力を伸ばした先生の取り組みの分析、周知を行い、町全体の学力が伸びるように取り組む必要があります。</p>		
6 当課は掲げた目標達成のために、次の取り組みを行います。		
<p>授業展開を記したマグネットシートを各校に配布し、授業の最後に「練習問題に取り組む時間」を設け、児童生徒の学習内容の確実な定着を図るように教員への意識付けを図ります。また、学力向上対策委員会において、児童生徒の学力を伸ばした先生の算数・数学の授業及び授業外の取組について研究を行います。 「学力向上毛呂山プラン」や「授業の心得ヒントシート」(学力向上を目指すための授業の心得を記したもの)へも「練習問題に取り組む時間」を記述し、教員への周知徹底を図り、授業改善を行います。</p>		